

「豊かな人間性を培い、よりよく生きようとする力を備えた子どもの育成」をめざすPTA活動  
～親子・会員相互の交流を深め、楽しく充実した活動を通して～

伊佐市立本城小学校PTA

## 1 はじめに



【本城小学校全景】

本校は、県北部伊佐盆地の南に位置し、校区の北部を川内川が流れその周辺は田園が広がっている。本校区は歴史的史跡が数多く見られる。学校前の城山は、旧太良城跡であり、昔の隆盛を忍ぶことができる。基幹産業は、米作りを中心とする農業であるが、副業として、畜産・野菜作り等を行っている。近年、生涯学習の視点に立ち、校区コミュニティ活動の充実が図られているが、その一貫として進めている校区体験活動に、児童・教職員が積極的に参加して学校・地域が一体となった教育活動を行っている。

今年で創立143年を迎えた、児童数78名、PTA56戸数の学校である。

## 2 活動の実際

平成26年度にPTA専門部の活動を見直し、5つの専門部を事業部・保健体育部・広報部・総務部の4つの専門部に統合し、各家庭が一人一役で活動するようにして、保護者と学校、保護者同士が連携を密に図りながら「豊かな人間性を培い、よりよく生きようとする力を備えた子どもの育成」を念頭に置いて活動を進めている。



各専門部を中心にしてPTA新聞、愛校作業、空き瓶回収、【おやじの会主催 田んぼで遊ぼう】一家庭一運動、朝のあいさつ運動、プール監視（救急救命講習）、基本的生活習慣の啓発、会員の資質向上の推進等に取り組んでいる。その中でも特に本年度は、子どもたちの基本的生活習慣の確立と会員の資質向上を目指して取り組んでいる。

基本的生活習慣の啓発については、各学級の保健目標を掲げ、各家庭で取り組んでいる。また、保健体育部が中心となり、生活実態アンケートをもとに結果をまとめ、コメントを書いて保体部だよりとして発行し啓発を行っている。保体部会のメンバーが作業する中で、子育ての悩みを気軽に話題にするなど会員同士が悩みや情報を語り合い、交流するよき場となっている。

また、会員の資質向上のために総務部や研修部が中心となり、親業出前講座や菱刈中校区の市の人権学習啓発会への参加を呼びかけるとともに「スマホと携帯電話」、「ペップトーク」など講師を招聘した講演会を実施し、家庭への啓発を促しながら資質向上に努めている。

さらに、各学級のPTA活動で親子レクリエーションを企画したり、おやじの会が企画する「田んぼで遊ぼう」「鬼火焚き」などの体験活動を実施することにより、親子のふれあいや保護者同士の親睦を深めるとともに、本城という地域のよさを感じるように工夫して取り組んでいる。

## 3 おわりに

子どもたちのために役割分担をしながら楽しくPTA活動に取り組んでもらっているが、資質向上のために積極的に研修会に参加するという面でやや意識が低いのが課題である。子どもとともに自分自身を高めるという意識で参加できるようにニーズに合った研修会の企画等、さらなるPTA活動の充実に努め、保護者の参加意欲を高めていきたいと考えている。



【学校保健委員会での講演会風景】